

2023年9月8日
川崎汽船株式会社

香港にて当社鉄鋼原料輸送船に船用バイオ燃料を供給
～脱炭素化に向けた取り組み～

川崎汽船株式会社(以下、「当社」)はグローバルに供給網を展開する船用燃料サプライヤーの Peninsula と船用バイオ燃料供給契約を締結し、資源メジャーの BHP 協力の下、8月11日(金)に香港において当社運航の鉄鋼原料輸送船「CAPE AMAL」(以下、「本船」)が船用バイオ燃料の供給を受けました。本船は8月29日(火)から、本バイオ燃料を利用した航行を開始しました。

バイオ燃料は環境負荷低減が可能な代替燃料であり、船舶の既存のディーゼルエンジンの仕様を変えずに使用することができ、本バイオ燃料に含まれる FAME (脂肪酸メチルエステル) は従来の化石燃料と比べてライフサイクル(原料の栽培から最終的な燃料利用迄)で約 84% の CO2 削減効果が期待できます。本バイオ燃料は FAME24% に低硫黄燃料油 (VLSFO) を混合した B24 です。なお、今回使用するバイオ燃料は食料や飼料と競合する原料の使用を避けたバイオマスなどの再生可能な有機資源を原料としています。

当社の環境に関わる長期指針「**“K” LINE 環境ビジョン 2050～青い海を明日へつなぐ～**」(注1)では、国際海事機関 (IMO) が定める 2030 年目標である「CO2 排出効率 2008 年比 40% 改善」を上回る「同 50%改善」という目標を設定し、更には 2050 年の目標として GHG 排出ネットゼロに挑戦していくことを掲げております。そのアクションプランとして当社は今後も環境負荷低減が可能な代替燃料導入に取り組み、目標達成に向け挑戦してまいります。

(注1) [「“K” LINE 環境ビジョン 2050 ～青い海を明日へつなぐ～」](#)

GHG 削減のアクションプランとして、アンモニア・水素燃料といったゼロエミッション燃料、およびバイオ LNG、合成燃料等のカーボンニュートラル燃料の導入を掲げています。